

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年 6月 27日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	進路マップ 基礎力診断テスト					
③主な対象者	就職から専門学校を含む各種の学校・短期大学・四年制大学への進学まで幅広い進路をめざす高校1年生～高校3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○		○	
⑥申請する測定ツールの目的・概要	【目的】 義務教育範囲から高校履修範囲までの基礎学力の定着度・学習習慣の状況を定期的に測定することで、学校としての指導改善、生徒の学習改善・学習意欲向上・基礎学力向上に役立ててもらうことを目的とする。 【概要】 ・「マーク式」（選択肢）問題と「記述式」問題から構成され、「マーク式」問題では主に基礎学力の「知識・技能」を、「記述式」問題では主に「思考力・判断力・表現力」を測定します。 ・義務教育範囲から高校履修範囲までの基礎学力の定着度をそれぞれの学校の進度にあわせて（回ごとの進度対応）測定することができます。回ごとに事前学習教材の内容とテスト問題の内容が連携しています。 ・生徒向けに、基礎学力の到達状況とその状況に基づいた個別の学習課題を結果として提供するとともに、学習アドバイスを提供することで、受検結果を次の学習改善につなげます。 ・学校へは学年集団の特性がわかる概況データ及びクラス担任・教科担任先生用に学習状況を踏まえた情報を提供することで、指導改善や生徒への声かけの材料として活用いただけます。 ・1年生から3年生まで全9回構成となっており、選択問題も含みますので学校の進度により合った実施・測定が可能です。国語・数学・英語についての「マーク式」問題50分間×3教科＋「記述式」問題15分間×3教科に加えて、英語スピーキングテスト問題25分間または学校採点の英語スピーキング問題5分間、アンケート30分間の構成です。 ・タイプは2種類あり、Cタイプは「教科診断＋アンケート」、AタイプはCタイプに「進路適性検査」が加わったものです。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	【特長】 ・事前学習教材と教科テストの内容は6割～7割準拠しています。診断結果は「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」別の観点、「義務教育範囲」「高校範囲」別の観点等で集計し測定しています。 ・教科テストとあわせて学習力（教科学習面・生活面・進路面）に関するアンケートがあり、学習習慣作りを含めた生徒向けアドバイスを提供します。 ・事後学習用に、結果に応じた個別問題（生徒用個人帳票に掲載）と動画が提供されます。一人ひとりのつまづきにあわせた学習の仕組みを提供することで学習改善につなげます。 ・学力については、学力測定指標「学習到達ゾーン(GTZ)」により進路可能性と関係づけることで学力結果を生徒の進路選択につなげています。 【活用例】 1年生4月入学直後に実施し、入学段階での「基礎学力」と「学習力」の初期把握を行い、その結果を学年の指導計画に反映します。また、個人結果をもとにしたクラス担任先生の個別面談により生徒一人ひとりの状況把握ができます。1年生9月に2回めを受けることで、4月からの学力の推移と学習力の変容を把握し、4月からの指導成果を検証することで、学年後半の指導改善につなげます。 ・問題は全回各教科とも前年度と同一問題です。					
⑧実施期間、年間実施回数	【実施期間】原則、実施時期×学年回の選択は、学校による自由設定 問題としては、1年生4回、2年生3回、3年生2回、計9回 【お申込み時期】実施日の15日前を締切とする					
⑨実施方式（CBT/PBT）	PBTのみ					
⑩試験時間(分)	国語		数学		英語	
	各学年回 「マーク式」問題：50分 「記述式」問題：15分		各学年回 「マーク式」問題：50分 「記述式」問題：15分		各学年回 「マーク式」問題：50分（リーディング・リスニング） 「記述式」問題：15分（ライティング） スピーキングテスト問題：25分 または 学校採点のスピーキング問題：5分	
⑪受検料	Cタイプ：学校採点の英語スピーキング問題の場合：2,260円、英語スピーキングテスト問題の場合：3,060円 Aタイプ：学校採点の英語スピーキング問題の場合：2,980円、英語スピーキングテスト問題の場合：3,780円 ※すべて消費税等込み					
⑫標準返却期間	1回め：「マーク式」結果＝答案到着後約1～2週間で返却（紙） 2回め：「記述式」＝答案到着後約3～4週間で返却（データ）					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	http://www.bhso.ne.jp/					

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

☐主な対象者: 就職から専門学校を含む各種の学校・短期大学・四年制大学への進学まで幅広い進路をめざす高校の高校1年生～高校3年生

☐測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力

☐出題範囲:

スタート版…義務教育範囲からの出題

1年1回…高校1年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲からの出題

1年2回…高校1年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の1学期までの履修範囲からの出題

1年3回…高校1年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の2学期までの履修範囲からの出題

2年1回…高校2年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生全履修範囲からの出題

2年2回…高校2年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の1学期までの履修範囲からの出題

2年3回…高校2年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の2学期までの履修範囲からの出題

3年1回…高校3年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生全履修範囲からの出題

3年2回…高校3年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校3年生の1学期までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※統一実施日の設定がなく、どの学年の、どの回を実施するかは、履修状況に応じて、学校が選択することが可能です。かつ、一部選択大問を導入しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、大問を選択することが可能です。

☐主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式で出題します。

☐主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

☐難易度: 「マーク式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」問題 90%、「記述式」問題 10%（一部短答式を含む）程度で出題します。

②出題範囲

※設問数、配点ともほぼ同様です。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲 (国語総合)	選択科目範囲	備考
スタート版	100%	0%	0%	
1 年 1 回	100%	0%	0%	
1 年 2 回	80%	20%	0%	
1 年 3 回	80%	20%	0%	
2 年 1 回	80%	20%	0%	
2 年 2 回	80%	20%	0%	
2 年 3 回	50%	50%	0%	
3 年 1 回	50%	50%	0%	
3 年 2 回	50%	50%	0%	

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、全体で 50～60%程度の得点率となるような難易度とします。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前学習教材に 6～7 割程度準拠した出題（同じ設定の問題で、数値を変えただけのもの等）であり、事前に学習すれば、得点できることで、学習意欲を喚起します。
- ・主に「記述式」問題の出題では、日常的に触れる機会の多い素材を用いた出題を行います。
- ・主に「マーク式」問題の出題では、義務教育範囲を含めた高校生の基礎となる学力測定を重視します。
- ・「スタート版」については、別売の義務教育範囲学び直し教材「マナトレ」と連動した出題であり、「マナトレ」での指導学習成果を試せる出題とします。

(5)その他特長

- ・毎年同一問題であるため、過年度との比較（今年度の高校 1 年生は、昨年度の高校 1 年生に比べて学力はどの程度の到達度か等）が可能です。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

- ・学校を通じた受検者個人への結果提供：早期結果提供を重視し「1 回め」と「2 回め」に時期を分けて結果提供しています。
- 「1 回め」：「マーク式」問題及びアンケート結果について紙媒体にて提供。
 - ※答案到着後約 1～2 週間で返却。
 - ※詳細は帳票見本「個人診断レポート」（資料 4）参照。
- 「2 回め」：「記述式問題」の結果と英語スピーキングテストの結果（受検ありの場合）を 1 回めの結果に加えて、データで提供。
 - ※答案到着後約 3～4 週間で返却
 - ※詳細は帳票見本「個人診断レポート」（資料 6）参照（今後 2019 年度向けに開発予定）。

「1 回め」の結果提供内容：

「学力面」

- ・教科学力テストにおける今回と前回の「学習到達ゾーン」（以下「GTZ」 ※1）。
- ・コース・科目ごとの得点、配点、校内平均、一つ上の「GTZ」までの得点、校内順位、得点率（「義務教育範囲」「高校履修範囲」「知識・技能」「思考力・判断力」の4カテゴリ）
- ・各教科の大問別結果、小問群（複数の設問を内容のまとまりとしてくくったもの）別結果、個人の強み・弱みに応じた取り組み問題および解答。
- ・一つ上の「GTZ」までの得点および今回の結果からの取り組むべき問題を提示することで、具体的な事後学習を起こすきっかけをつくり、受検者の学習意欲の喚起を支援します。
- ・これまでの進路マップシリーズ（「基礎力診断テスト・実力診断テスト」）の成績推移。

※1：「GTZ」・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

「学習習慣・生活習慣面」

- ・事前学習の取り組み度、生活面・教科面での頑張度、授業外学習、学習の悩み、頑張りたいこと、頑張れていないこと、授業理解姿勢、定期試験学習などの状況を表示します。

「進路面」

- ・希望進路、将来の職業、現在の状況・条件、社会への関心や、自己を高めることへの関心等
- ・「学力面」だけでなく、「学習習慣・生活習慣面」「進路面」も含めた多面的な情報を掲載し、かつ、前回より良好な変容が見られる場合にはその部分を示すことで、学びのモチベーションを高めます。また同時に、学びに向かうための土台としての力が醸成されているかを確認することができます。

「2 回め」の結果提供内容： ※現在開発中のため掲載内容は予定（2018 年 6 月時点）。
電子データによる返却（専用無料 Web サイト経由）。

「個人診断レポート」

1 回めの提供内容に加えて、

- 「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題及び「英語スピーキングテスト」問題に関する、各教科の得点率、校内順位、校内偏差値、レベル。
- ・各教科、各単元での定着度をレベル別に表示。
- ・学力結果に応じた取り組むべき動画教材及び問題、解説の配信（一定期間のみ）。
- ・動画教材で「見て学ぶ」だけでなく、実際に問題を「解く」ことで、わかることとできることの両方の実現をねらっています。

(2)学校等への結果提供内容・方法：

早期結果提供を重視し「1 回め」と「2 回め」に時期を分けて結果提供します。

「1 回め」：「マーク式」問題及びアンケート結果について紙媒体にて提供。

※答案到着後約 1～2 週間で返却。

※詳細は帳票見本「学年診断レポート」等（資料 1・2・3）参照。

「2 回め」：「記述式」問題の結果を 1 回めの結果に加えて、データで提供。

※答案到着後約 3～4 週間で返却。

※詳細は帳票見本「学年診断レポート」（資料 5）参照（今後 2019 年度向けに開発予定）。

「1 回め」の結果提供内容：

＜学年・進路担当の先生への提供内容・方法＞

主に学年別のデータとして、以下の情報を中心に提供しています。

「結果概況」

- ・コース、各教科での「GTZ」の変化、事前学習教材への取り組み結果の変化など
- ※「生活面」「教科面」について今回と過去回の情報を掲載。

「学力面」

- ・コース、各教科での「GTZ」の上昇者人数、「GTZ」換算表、「GTZ」別人数。
- ・各教科での義務教育範囲問題の得点率度数分布、事前学習教材への取り組み状況。
- ・クラス別「GTZ」別人数。

「学習習慣・生活習慣面」

- ・出席、授業準備、提出物の状況、学習時間などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・各教科の授業外学習、定期試験学習の取り組み状況などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「学習習慣・生活習慣面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

「進路面」

- ・希望進路、こだわり度、進路学習取り組み度などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「進路面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

「『GTZ』の説明」

- ・「GTZ」の段階および進学・就職の目安、生徒の特徴とアドバイス例。
- ・学年集団としての「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の状況を掲載することで、多面的把握および指導改善の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。
- ・クラス別概況も示すことで、各クラスの傾向や注目ポイントを把握でき、クラス担任先生とのコミュニケーションをより深めるための支援を行います。

＜クラス担任の先生への提供内容・方法＞ ※クラスごとに冊子が分かれます。
主にクラス別のデータとして、以下の情報を中心に提供します。

「結果概況」

- ・「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の3つについて、前回から良好な変容が見られた生徒の人数。

「『GTZ』の説明」

- ・「GTZ」の段階と、進学・就職・学力の目安、一つ上のレベルに進むために必要な学習、卒業後に向けて身につけたい力をアドバイスとして表示。

「クラス一覧」

- ・クラスごとの各生徒の「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の概況を一覧化した情報。
- ・クラス一覧の項目について、弊社基準で良好と判断したものは青字、弊社基準で改善が必要と判断したものは赤字で表示し、一目で声かけのポイントがつかめるようにしています。さらに、前回から良好な変容が見られたものについては、その生徒がわかるようにし、褒めるポイントをわかりやすく示すことで、クラス担任先生と生徒のコミュニケーションが効果的に行われるための工夫を凝らしています。

「個人診断結果」

- ・クラスごとの各生徒の「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の結果を詳細に掲載したもので、内容は「受検者個人への結果提供内容」より主な項目を抜粋。

「学力面」

- ・コース、各教科の「GTZ」別人数度数分布。
- ・各教科の義務教育範囲問題の得点率度数分布、事前学習教材への取り組み状況。
- ・（「GTZ」の上昇下降をもとにした）褒めたい生徒、励ましたい生徒の人数と生徒名。

「学習習慣・生活習慣面」

- ・出席、授業準備、提出物の状況、学習時間などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・各教科の授業外学習、定期試験学習の取り組み状況などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「学習習慣・生活習慣面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

「進路面」

- ・希望進路、こだわり度、進路学習取り組み度などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「進路面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

- ・クラス集団としての「学力面」「学習習慣・生活習慣面」「進路面」の状況を掲載することで、多面的把握および指導改善の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。
- ・各生徒の概況を示すことで、各生徒の様子や成長ポイントを把握でき、クラス担任先生と生徒のコミュニケーションをより深めるための支援を行います。

<教科担当の先生への提供内容・方法> ※教科ごとに冊子が分かります。

主に学年別のデータとして、以下の情報を該当教科中心に提供します。

「結果概況」

- ・「GTZ」の変化。
- ・「義務教育範囲」「高校範囲」「知識・技能」「思考力・判断力」の4観点での得点率（今回、過去回）。
- ・小問群単位での、校内で優先的に取り組むべき内容。
 - ・校内と目標得点率で差が大きかった小問群。
 - ・校内で「『GTZ』のD3ゾーン」と「『GTZ』のD2・D1ゾーン」の差が大きかった小問群等。
- ・事前学習教材への取り組み状況等。

「学力面」

- ・「GTZ」度数分布（今回と過去回）、「GTZ」上昇者人数。
- ・義務教育範囲問題の得点率度数分布（今回と過去回）。
- ・大問別の校内平均得点率（大問名、受検者数、配点、得点率、解答解説のページ番号）及び小問群別の校内平均得点率（大問番号、小問群名、出題範囲、得点率）。
- ・大問別のクラス平均得点率（大問名、配点、得点率、解答解説のページ番号）及び小問群のクラス平均得点率（大問番号、小問群名、クラスごとの得点率、各小問群に該当する解答欄番号）。
- ・小問群別「GTZ」レベル別校内平均得点率（大問番号、小問群名、出題範囲、「GTZ」で層ごとに分けた得点率）及びその活用方法について（データの見方、指導への活かし方のアドバイス）。

「学習習慣・生活習慣面」

- ・各教科の授業外学習、定期試験学習の取り組み状況などのアンケート集計情報（今回と過去回）。
- ・「学習習慣・生活習慣面」の評価として、各生徒についてアンケート結果をもとにレベル分けし、「GTZ」とクロス集計した情報。

「『GTZ』の説明」

- ・「GTZ」の段階と、進学・就職・学力の目安、一つ上のレベルに進むために必要な学習についてのアドバイス例。
- ・教科ごとに、「学力面」の結果を小問群単位で詳細に示すことで、教科指導および授業の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。

「2 回め」の結果提供内容： ※現在開発中のため掲載内容は予定（2018 年 6 月時点）。
電子データによる返却（専用無料 Web サイト経由）。

＜学年診断レポート＞

1 回めの提供内容に加えて、

- ・「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題に関する、各教科の得点率、校内順位、校内偏差値、レベル。
 - ・教師用帳票の PDF データ及びそのもととなるローデータ（エクセル・CSV データ）について、専用無料 Web サイトに搭載。エクセル・CSV データについては、学校が必要に応じて加工等行うことが可能です。
 - ・設置者等への報告資料の雛型となる書式及び今回の結果の振り返り情報をデータで提供予定です。この書式と情報をもとに学校で、設置者等への報告資料を作成できることを想定しています。
- ※書式イメージは帳票見本「設置者等への報告書フォーム」（資料 7）参照。

分析会の実施について

- ・実施校からの要望に応じて、各県の営業担当者中心に、結果報告会を実施。各校の結果を分析し、指導改善のためのアドバイスやプラン・情報の提供などを行います。

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

「マーク式」問題による配点に基づき、得点率を算出し提供しています。この得点率をもとに「GTZ」に紐づけています。「記述式」問題にも配点があり、得点率を算出し提供しており、各教科の「記述式問題レベル定義（段階別評価）」に紐づけています。

＜「GTZ」設定方法＞

「GTZ」は学年・回ごとに決定しており、「A2～D3 -」までの 17 段階で示しています。これまでの受検実績（受検母集団データより同一受検者を抽出）に基づき、進研模試の「到達度指標」の設定にあわせて進路マップ 基礎力診断テストの「GTZ」を設定しています。

＜「GTZ」の目安＞

進研模試の結果を参考に「GTZ」の各ゾーンについて次のような目安を設けています。

「GTZ」の目安は、各教科における到達度を大きく 5 段階に分けて必要とされる力を定義しています。段階ごとに、各教科の「〇〇できる」という定性評価を記載します。

＜「記述式問題レベル定義」の設定方法と目安＞

レベル定義は、4段階で構成され、各教科問題における測定すべき力を定義しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

- ・毎年新規で制作する出題については、複数名の作問スタッフが問題作成から検討を行い、そのうえで、作問を行っていないチェック者が第三者的視点で、問題の質を吟味することで、出題の客観性が保たれています。また、これまでの過去の結果データを活かしつつ、難易のチェックを含めた作問をしているため、毎回同程度の難易度を維持できています。

(2) 学校における実施方法

- ・ベネッセから学校に問題・アンケートなどの資材を送り、学校で実施していただく。マニュアル（教師用ガイド）や手引き（実施の手引き）等で、迷いなく指導・実施ができるように情報を提供しています。
- ・学校での実施にあたり教員の担うべき役割等については、実施にあたっての資材の開封、実施準備、試験監督、答案の回収、発送のための梱包といった作業があります。
- ・問い合わせ窓口を設けており質問を受け付けられるような体制を敷いています。
また、ベネッセの担当者を拠点ごとに配置し、実施にあたっての不明点や事前・事後指導等の確認、トラブル等への対応が学校ごとにできるようになっています。
- ・実施方法について、学校の実情に応じて、実施日・受検教科を自由に選択・設定できるようにしています。国語・数学・英語の3教科受検を推奨しているものの、教科単位で受検いただいた場合は、その教科についての成績を返却します。継続的な受検を前提としており、最新回の受検結果の中に、前回の受検結果も推移（過回比較）で掲載し、前回からの変化・変容を確認することを可能にしています。

(3) 採点の方法と体制

- ・ベネッセでは、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取り組みを実施しています。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

- ・弊社ベネッセは、IS027001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1) ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2) 機密(個人)情報取り扱い各種ルールへの遵守
B. 場所に関する施策	(1) ゴーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2) 拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1) 各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- ・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

1 視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望をうけ、準備期間をいただき、問題の点訳、一部資料の拡大対応を予定します。弊社では従来のアセスメント実施で経験、実績のある対応です。

2 聴覚障害のある受検者への配慮

リスニング問題「聞くこと」実施に際し、音声と同じスク립トを該当の受検者に見ていただ

る用意をして、解答できるよう対応します。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

- ・ 事前学習用問題集として、国語・数学・英語それぞれで、「One Week トライアル」を提供。各教科の活用状況について、アンケート「学習力チェック」の中で問うており、結果を教師用帳票、生徒用帳票に記載しています。
- ・ 事後学習用教材として、国語・数学・英語それぞれで、「あなた専用問題」を提供。今回の各教科の学力結果をもとに、個人に応じて出し分けています。

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

- ・ アンケート「学習力チェック」があります。内容は「進路意識」「学習と生活」「自分らしさ発見」「各教科の学習について」の4テーマで質問項目を設けています。

(4) 個人受検の可否

学校での指導を前提としたアセスメント教材であるため、個人受検はできません。

(5) 問題内容の情報提供

問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使っていただけます。

(6) その他

教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供のもととなる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

☐主な対象者: 就職から専門学校を含む各種の学校・短期大学・四年制大学への進学まで幅広い進路をめざす高校1年生～高校3年生

☐測定しようとする資質・能力

義務教育範囲も含め、

数学Ⅰ「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データ分析」

数学Ⅱ「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」

数学A「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」

に関する資質・能力 等

☐出題範囲:

スタート版…義務教育範囲からの出題

1年1回…高校1年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲からの出題

1年2回…高校1年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の1学期までの履修範囲からの出題

1年3回…高校1年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の2学期までの履修範囲からの出題

2年1回…高校2年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生全履修範囲からの出題

2年2回…高校2年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の1学期までの履修範囲からの出題

2年3回…高校2年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の2学期までの履修範囲からの出題

3年1回…高校3年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生全履修範囲からの出題

3年2回…高校3年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校3年生の1学期までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※統一実施日の設定がなく、どの学年のどの回を実施するかは、履修状況に応じて、学校が選択することが可能です。かつ、一部選択大問を導入しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、大問を選択することが可能です。

☐主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度： 「マーク式」問題は、平均 50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。
「記述式」問題は、平均 50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」問題 80～90%、「記述式」問題 10～20%（一部短答式を含む）程度で出題します。

②出題範囲

※設問数、配点ともほぼ同様です。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲	備考
スタート版	100%	0%	0%	
1 年 1 回	100%	0%	0%	
1 年 2 回	80%	20%	0%	* 1
1 年 3 回	80%	20%	0%	* 1
2 年 1 回	30%	50%	20%	* 2
2 年 2 回	30%	50%	20%	* 2
2 年 3 回	30%	50%	20%	* 2
3 年 1 回	30%	50%	20%	* 2
3 年 2 回	30%	50%	20%	* 2

(＊1) 複数の選択大問があるため、義務教育範囲の割合が大きい受検パターンにて記載。

(＊2) 複数の選択大問があるため、必履修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

・過去の実施データを参考にし、全体で 50～60%程度の得点率となるような難易度とします。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前学習教材に 6～7 割程度準拠した出題（同じ設定の問題で、数値を変えただけのもの等）であり、事前に学習すれば、得点できることで、学習意欲を喚起します。
- ・主に「記述式」の問題では、日常的に触れる機会の多い素材を用いた問題作成を行います。
- ・主に「マーク式」の問題では、義務教育範囲を含めた高校生の基礎となる学力測定を重視します。
- ・「スタート版」については、別売の義務教育範囲学び直し教材「マナトレ」と連動した出題であり、「マナトレ」での指導学習成果を試せる出題とします。

(5)その他特長

毎年同一問題であるため、過年度との比較（今年度の高校 1 年生は、昨年度の高校 1 年生に比べて学力はどの程度の到達度か等）が可能です。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語の申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語の申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語の申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

□主な対象者: 就職から専門学校を含む各種の学校・短期大学・四年制大学への進学まで幅広い進路をめざす高校1年生～高校3年生

□測定しようとする資質・能力

「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

スタート版…義務教育範囲からの出題

1年1回…高校1年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲からの出題

1年2回…高校1年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の1学期までの履修範囲からの出題

1年3回…高校1年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生の2学期までの履修範囲からの出題

2年1回…高校2年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校1年生全履修範囲からの出題

2年2回…高校2年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の1学期までの履修範囲からの出題

2年3回…高校2年生の1月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生の2学期までの履修範囲からの出題

3年1回…高校3年生の4月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校2年生全履修範囲からの出題

3年2回…高校3年生の9月での実施を想定し、義務教育範囲ならびに高校3年生の1学期までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※統一実施日の設定がなく、どの学年の、どの回を実施するかは、履修状況に応じて、学校が選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式(口述式)で出題します。

□難易度:「マーク式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

「記述・口述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

CEFRにおける「A1～A2」程度とします。

(2)構成等

①出題形式

全体で「選択式」80～90%、「記述・口述式」10～20%（一部短答式を含む）程度とします。

Listening：すべて「選択式」（4問程度）。リスニング CD による音声放送。

欠席者対応として「アクセント・発音」での受検が可能です。

Reading：すべて「選択式」（30問程度）。

Writing：「選択式」7割程度（6問程度）、「記述式」3割程度（2問程度、10～20語程度）。

Speaking：「対面式」または学校の PC を利用した「録音方式」。（7問程度）。

実施・録音のための USB、ヘッドホンマイクは貸出。

※「対面式」については、測定することに代えて問題、解答例および採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数、配点ともほぼ同様です。

実施学年月	義務教育範囲	必修修科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅰ)	選択科目範囲	備考
スタート版	100%	0%	0%	
1年1回	100%	0%	0%	
1年2回	70%	30%	0%	
1年3回	70%	30%	0%	
2年1回	70%	30%	0%	
2年2回	60%	40%	0%	
2年3回	60%	40%	0%	
3年1回	60%	40%	0%	
3年2回	60%	40%	0%	

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、全体で 50～60%程度の得点率となるような難易度とします。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前学習教材と 6～7 割程度準拠した出題（同じ設定の問題で、数値を変えただけのもの等）であり、事前に学習すれば、得点できることで、学習意欲を喚起します。
- ・主に「記述・口述式」問題では、日常的に触れる機会の多い素材を用いた問題作成を行います。
- ・主に「マーク式」問題では、義務教育範囲を含めた高校生の基礎となる学力測定を重視します。
- ・「スタート版」については、別売りの義務教育範囲学び直し教材「マナトレ」と連動した出題であり、「マナトレ」での指導学習成果を試せる出題とします。

(5)その他特長

毎年同一問題であるため、過年度との比較（今年度の高校 1 年生は、昨年度の高校 1 年生に比べて学力はどの程度の到達度か 等）が可能です。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

英語については、「対面式」の場合、先生のように技能別でも行います。

また、録音方式の場合、先生・生徒に技能別でも行います。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語の申請様式参照

＜「英語スピーキングテストのレベル定義」の設定方法と目安＞

レベル定義は、4段階で構成され、各教科問題における測定すべき力を定義します。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語の申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語の申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語の申請様式参照

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト
対象教科:国語・数学・英語
測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)

II. 結果提供に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
帳票見本: (1回め返却「マーク式」教師用)	学年診断レポート	資料1		
	教科診断レポート	資料2		
	クラス診断レポート ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料3		○
帳票見本: (1回め返却「マーク式」生徒用)	個人診断レポート ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料4	○	
帳票見本: (2回め返却「マーク式」+「記述式」: 教師用)	学年診断レポート ※見本は作成中のイメージです。19年度に向けて開発予定です。	資料5		○
帳票見本: (2回め返却「マーク式」+「記述式」: 生徒用)	個人診断レポート ※見本は作成中のイメージです。19年度に向けて開発予定です。	資料6	○	
帳票見本: (設置者等報告用)	設置者等への報告書フォーム ※見本は作成中のイメージです。19年度に向けて開発予定です。	資料7		○

III. 運営に関すること

＜提出必須の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書 ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料8
学校用実施マニュアル	実施の手引き ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料9

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

2018年度実施のご案内

 Benesse

♡ 生徒の心に火をつける

進路マップ

【マーク式学力テスト】

成功体験をきっかけに生徒の学びの姿勢をつくる



基礎力診断テスト

(1～3年生向け)

進学から就職まで、多様な進路を希望する生徒全員でご実施いただけるテストです。希望進路にかかわらず、生徒全員の「学び」への前向きな姿勢づくりにご活用いただけます。

【進路適性検査】視野を広げて考える



自己発見リサーチ

(主に1・2年生向け)

【進路適性検査】希望進路実現に向けて行動する



自己発見フォーカス

(主に2・3年生向け)

自己発見リサーチで進路学習を、自己発見フォーカスで進路選択をスタートできる進路適性検査です。進路の可能性に気づかせ、学習意欲につなげることができます。



教育・入試改革にも対応し、
生徒の学力向上を支援する
機能が満載！

NEW!

教育・入試改革にも対応し、

「思考力・判断力」を測る
問題を出題

NEW!

学力向上のPDCAサイクル構築を支援する
生徒用帳票・先生用帳票
を改定

生徒ひとり一人の結果に合わせてリコメンド
動画＋問題(リコメンド)

料金および実施日・お申し込み締切日

※記載された金額には消費税等を含んでいます。

教材名		ご請求額	標準受験料	実施日	お申し込み締切日
学力テスト	基礎力診断テスト	各回1,880円	各回2,080円	学校のご都合に合わせて、自由に設定していただけます。	実施日の 15日前
進路適性検査	自己発見リサーチ	各1,030円	各1,130円		
	自己発見フォーカス				
学力テスト ＋ 進路適性検査 セット	基礎力診断テスト ＋ 自己発見リサーチ	各回2,600円	各回2,900円		
	基礎力診断テスト ＋ 自己発見フォーカス				

基礎力診断テスト・進路適性検査のご紹介

学校がめざす資質・能力の育成に向けた基礎学力向上のためのPDCAサイクル構築をご支援します

事前準備

テスト実施

結果返却

次のテストへ

	生徒	先生
事前準備	One-Week トライアル  テストに向けた学習ができる	教師用ガイド 先生間でテストの実施方法をわかりやすく共有できる
テスト実施	問題 学習力チェック  実態を正確に把握する	問題・解答解説 テスト実施後に振り返りを行うことができる
結果返却	結果診断レポート  できたことがひと目でわかる	結果診断レポート・学習動画 詳細な結果をもとに分析し、今後の指導を検討できる面談等を実施して、次のテストに向けた対策ができる
次のテストへ	学習動画  次にすることがわかる	

基礎力診断テスト

〈特長〉

生徒の「やったらできた」を実感させるきっかけづくり

- ①事前問題集「One-Week トライアル」と連動したテスト問題で「やったらできた」を実感できる！
- ②すべての回で義務教育範囲の問題を出題しているため、高校学習の土台となる学力の定着を確認できる！
- ③頑張った成果がひと目でわかる結果帳票で、生徒のやる気を引き出せる！
- ④学校の行事予定や履修進度に合わせて、実施日や実施学年・回を自由に設定できる！
- ⑤デジタルによる個別学習支援機能を標準搭載

これからの社会に必要な力の育成をサポート

・結果資料がわかりやすくなり、テスト結果が活用しやすい

〈教材概要〉

実施学年・回	スタート版／1・2年生：第1回・第2回・第3回・第4回／3年生：第1回・第2回 ※履修進度に合わせてお選びください。
出題教科	国語 数学 英語／学習力チェック
実施時間	各教科 50分／学習力チェック 30分目安
事前教材	「One-Week トライアル」教科別冊子(解答解説冊子は3教科合冊) ※お申し込み校に一律でお届けします。
結果発送	マークシート弊社到着より約2週間後

〈基礎力診断テスト ラインナップ・出題範囲〉

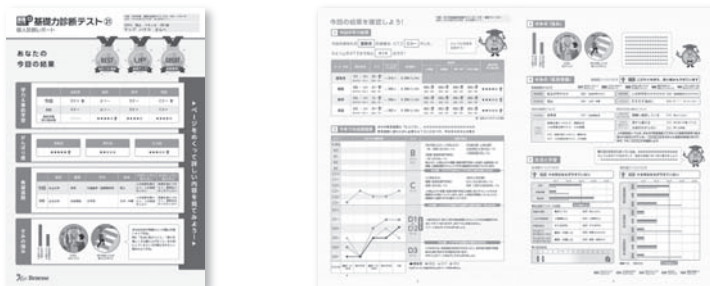
全国の高等学校への履修進度アンケート調査の結果をもとに、次の各時期の平均的な履修進度に合わせて、出題分野・内容を設定しています。

「スタート版」
義務教育範囲の
定着度を測る

	～前年度3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	スタート版	第1回	第2回						第3回			第4回	
2年生		第1回	第2回						第3回			第4回	
3年生		第1回	第2回										

※実施学年・回・実施日は自由に設定できます。学校の行事予定や履修進度などに合わせてお選びください。
※スタート版を含むすべての回を、1～3年生のどの学年でも受験できます。

ポイント1 基礎力診断テストと実力診断/判定テストの結果が連動し、生徒を多面的に把握することができます



個人診断レポートにこれまでに受験した基礎力診断テストと実力診断/判定テストの成績結果が表示されるので、多面的に生徒の成長を把握することができます

ポイント2 結果分析から次の打ち手がわかりやすくなった結果診断レポートを新たにご提供します



テスト結果のサマリーが表示されるので、見るべきポイントがひと目でわかります
テスト結果の分析が行いやすくなったため、基礎学力向上のためのPDCAサイクルをスムーズに回すことができます

ポイント3 生徒一人ひとりのアセスメント結果にあわせて動画リコメンド



動画は1回5分程度のため集中力が持続。義務教育範囲の学び直しから取り組みます。

1動画に1〜3問題をセット。約10分で取り組み、宿題や補習授業でも活用できます。

※本機能はスマートフォンのアプリやWEBブラウザで利用可能です。

本サービスは、株式会社ベネッセコーポレーションとClassi株式会社が運営・提供します。



Classiは、Web上のシステムを利用して校内・校外の生徒の情報を一元管理できるプラットフォームです。現場を知り尽くした先生方のお声とともに成長し、2017年度8月現在、2,000校以上で導入いただけるサービスとなりました。多様化する教育とそれに即した様々な生徒へのきめ細かな指導を、豊富な両面からサポートいたします。

▶ 推奨環境はこちらをご覧ください ▶ <https://classi.jp/>

進路 適性検査

自己発見リサーチ
自己発見フォーカス

〈特長〉

- ①生徒一人ひとりが自分の進路について考え、リサーチするきっかけがつかれる！
- ②自分の希望(職業・学問)にフォーカスすることで、進路が絞り込める！

〈教材概要〉

種類	自己発見リサーチ(主に1・2年生向け)／自己発見フォーカス(主に2・3年生向け)
実施時間	各50分目安 ※自己発見リサーチでオプション選択大問を選択の場合は70分。
結果発送	マークシート弊社到着より約2週間後

基礎力 診断テスト



進路 適性検査

自己発見リサーチ
自己発見フォーカス

セット受験で、より効果的なご指導をしていただけます

- ・セット受験の場合、基礎力診断テストの「学習力チェック」はありません。アンケート内容は、「自己発見リサーチ」「自己発見フォーカス」に含まれています。
- ・「基礎力診断テスト」「進路適性検査」の結果発送を別時期に希望される場合は、セット受験ができませんので、それぞれ別にお申し込みください。
- ・同じ学年内で、セット受験と単品受験を混在でのお申し込みはできません。

※使用している図版はイメージですので、実際とは異なる場合があります。

実施の流れ

進路適性検査のみで実施の場合は、★のついている項目がありません。

実施前

お申し込み FAX (またはお電話・WEB) にてお申し込みください。

※テスト実施日の15日前までにお申し込みください。※詳しいお申し込み方法はP.8をご参照ください。

で請求額のご送金

お申し込み後、同封の郵便振替用紙にてご送金ください。

お申し込み部数確認

弊社よりお送りさせていただくFAXで
お申し込み部数をご確認ください。

問題などのお届け

申込書にご記入の「One-Week トライアル使用開始日」に
合わせて、すべての教材をお届けします。

One-Week トライアルで事前学習★ テスト実施の1～2週間前に配付してください。



▲One-Week トライアル

1～2週間をかけてのご実施がおすすめです。この期間を
確保するために、テスト実施日の15日前までにはお申し込み
ください。

- 読みやすい誌面とステップ形式の問題で一人でも取り組める！
- 1教科20分×5日間のプログラムだから負担感なく取り組める！
- テスト問題に60～70%準拠しているから「やったらできた」を実感できる！

実施

テスト実施

時間割例	「基礎力診断テスト」のみ	「基礎力診断テスト」+「自己発見リサーチ」	「基礎力診断テスト」+「自己発見フォーカス」
SHR(10分)	受験カード記入 (10分目安)	受験カード記入 (10分目安)	受験カード記入 (10分目安)
1限目(50分) 8:40～9:30	国語(50分)	国語(50分)	国語(50分)
休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)
2限目(50分) 9:40～10:30	数学(50分)	数学(50分)	数学(50分)
休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)
3限目(50分) 10:40～11:30	英語(50分)	英語(50分)	英語(50分)
休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)
4限目(50分) 11:40～12:30	学習力チェック (30分目安)	自己発見リサーチⅠ (50分目安)	自己発見フォーカス (50分目安)
		自己発見リサーチⅡ (20分) ※オプション選択大問	

■ご注意

「自己発見リサーチ」「自己発見フォーカス」について

- 「自己発見リサーチ」「自己発見フォーカス」の実施時間は目安です。
- 「自己発見リサーチ」は、Ⅰ(必須)とⅡ(オプション選択大問)で構成されます。Ⅱをご受験いただくと、個人診断レポートに「力の特性」(文理適性)が表示されます。

「学習力チェック」について

- 「学習力チェック」は、「基礎力診断テスト」のみで受験の場合にご実施いただく学習・生活面のアンケートです。ご実施されなかった場合、個人診断レポート等に表示されない項目がありますので必ずご実施ください。
- 「自己発見リサーチ」「自己発見フォーカス」には、「学習力チェック」のアンケート内容が含まれています。

学校オリジナル質問★

学校で自由に設定いただいた調査・質問項目の回答結果を集計してお返しするサービスです。ご実施は任意です。

- 回答は専用のマークシートに記入してください。
- 質問は最大40問まで、選択肢は20個まで設定可能です。
- 結果は「インターネットフォルダ」「FINE SYSTEM」を通じてお届けします。

※インターネットフォルダの詳細についてはP.7をご参照ください。

マークシートの発送 発送方法は、実施の手引き(問題など同送)をご参照ください。

結果返却

※マークシート弊社到着より約2週間後に発送

結果帳票

先生用



▲クラス診断レポート
(クラス担任先生用)

生徒用



▲個人診断レポート
(生徒用)



▲教科診断レポート★
(教科ご担当先生用)



▲学年診断レポート
(進路・学年主任先生用)

保管用が必要な場合は、申し込み時に「2部」希望とご指定ください。

結果データ★

「Benesse High School Online」内のインターネットフォルダにて、以下の電子データをcsv形式ファイルで提供します。データでは、小問ごとの弱点まで詳細に確認できるので、小テストの問題作成などにもご活用いただけます。専用のツールを使ってMicrosoft® Excel®で編集いただけます。

※インターネットフォルダおよび各データの詳細についてはP.7をご参照ください。

- ①マークリード早期配信サービス個人結果(学力)
- ②マークリード早期配信サービス個人結果(アンケート)
- ③(学校別集計)個人結果 ④(学校別集計)校内集計結果
- ⑤(学校オリジナル質問)個人結果 ⑥(学校オリジナル質問)校内集計結果
- ⑦(専門集計)個人結果 ⑧(専門集計)全国受験者人数

結果返却と同時に、

動画+問題(リコメンド) を利用可能

動画+問題(リコメンド)



アセスメント結果から
生徒一人ひとりのつま
ずきに合わせた単元を
リコメンド。

動画は1回5分程度。問
題と合わせて約10分
で取り組みます。

取り組み履歴確認



生徒の取り組み状況
をクラス一覧、生徒個
別にリアルタイムで
確認できます。

マークリード早期配信サービス

※マークシート弊社到着より約4営業日後に搭載

マークシートに印刷されている「解答用紙番号」に従って※1、「基礎力診断テスト」の採点結果のみを短期間でお届けするサービスです。マークシート弊社到着の約4営業日後※2に、インターネットフォルダに採点結果を掲載します。

- ※1 各マークシートに印刷されている「解答用紙番号」をもとに、採点結果をお届けします。
※2 祝日、年末・年始を除く月・金・実施の手引き・マークシート冊子表紙・マークシート等に記載している注意事項を守ってご実施いただいた場合に限りです。

学年	科目	テスト名	テスト番号	テスト日	テスト時間	テスト形式	テスト内容	テスト結果	テストコメント
1	国語	基礎力診断テスト	101	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
2	国語	基礎力診断テスト	102	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
3	国語	基礎力診断テスト	103	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
4	国語	基礎力診断テスト	104	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
5	国語	基礎力診断テスト	105	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
6	国語	基礎力診断テスト	106	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
7	国語	基礎力診断テスト	107	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
8	国語	基礎力診断テスト	108	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
9	国語	基礎力診断テスト	109	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る
10	国語	基礎力診断テスト	110	2017.11.10	10分	選択式	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る	国語の基礎力を測る

▲「マークリード早期配信サービス」CSVデータイメージ

専門高校別集計

同じ科・コースの生徒を母集団とし、県・ブロック別に集計します。同じ科・コースで学ぶ全国・地域の高校生の中で、よりリアルに学校・生徒の位置をとらえることができます。

集計方法

- 受験時に、生徒が所属する科・コースを「受験カード」にマーク。
- 年間4回の集計タイミングで、科・コースごとの母集団での集計結果をインターネットフォルダに掲載します。

対象学科

普通科、商業科、工業科、
農業科、水産科、家庭科、
看護科、福祉科、総合学科

	1回目	2回目	3回目	4回目
専門高校別集計結果掲載日	5月下旬(予定)	9月下旬(予定)	1月下旬(予定)	3月上旬(予定)

※上記スケジュールは、2017年11月時点の予定であり、今後変更になる可能性があります。

出題分野

※実施学年・回・実施日は、学校の履修進度に合わせて自由に設定していただけます。
 ※正確な過年度比較のために原則として問題改訂は行いません(新教育課程への対応は除く)。
 ※2018年度は前年度から一部問題の変更がありますが、難易度の変更はないため、これまで通り正確な過年度比較が可能です。

国語 (50分)

100点

■1年生

回		大問	出題範囲
スタート版	必答	1	現代文・知識
		2	読解・基礎
		3	現代文・読解
第1回 (新入生)	必答	1	現代文・知識
		2	読解・基礎
		3	現代文・読解
第2回 (1学期)	必答	1	現代文・知識
		2	読解・基礎
		3	現代文・読解
	選択問題 1題選択	4	古文・知識
		5	現代文・随筆
第3回 (2学期)	必答	1	現代文・知識
		2	読解・基礎
		3	現代文・読解
	選択問題 1題選択	4	古文・知識
		5	現代文・随筆
第4回 (3学期)	必答	1	現代文・知識
		2	読解・基礎
		3	現代文・読解
	選択問題 1題選択	4	古文・知識
		5	現代文・随筆

■2年生

回		大問	出題範囲
第1回 (新学年)	必答	1	現代文・知識
		2	読解・基礎
		3	現代文・読解
	選択問題 1題選択	4	古文
		5	現代文・随筆
第2回 (1学期)	必答	1	現代文・知識
		2	読解・基礎
		3	現代文・読解
	選択問題 1題選択	4	古文
		5	現代文・随筆
第3回 (2学期)	必答	1	現代文・知識
		2	現代文・読解
		3	古文
	選択問題 1題選択	4	現代文・随筆
		5	漢文・知識
	選択問題 1題選択	6	現代文・小説
第4回 (3学期)	必答	1	現代文・知識
		2	現代文・読解
		3	古文
	選択問題 1題選択	4	現代文・随筆
		5	漢文・知識
	選択問題 1題選択	6	現代文・小説

■3年生

回		大問	出題範囲
第1回 (新学年)	必答	1	現代文・知識
		2	現代文・読解
		3	古文
	選択問題 1題選択	4	現代文・随筆
		5	漢文
	選択問題 1題選択	6	現代文・小説
第2回 (1学期)	必答	1	現代文・知識
		2	現代文・読解
	選択問題 1題選択	3	古文
		4	現代文・随筆
	選択問題 1題選択	5	漢文
		6	現代文・小説

数学 (50分)

100点

■1年生

回		大問	出題範囲
スタート版	必答	1	基本問題
		2	割合
		3	関数
		4	図形
第1回 (新入生)	必答	1	基本問題
		2	中学校までの範囲(関数)
		3	中学校までの範囲(図形)
第2回 (1学期)	必答	1	基本問題
		2	中学校までの範囲(関数)
	選択問題 2題選択	3	中学校までの範囲(図形)
		4	数と式の計算
		5	不等式・集合と命題
第3回 (2学期)	必答	1	基本問題
		2	中学校までの範囲(関数)
		3	中学校までの範囲(図形)
	選択問題 2題選択	4	数と式の計算
		5	不等式・集合と命題
		6	2次関数の最大・最小
第4回 (3学期)	必答	1	基本問題
		2	数と式
	選択問題 2題選択	3	2次関数の最大・最小
		4	図形と計量
		5	場合の数

■2年生

回		大問	出題範囲
第1回 (新学年)	必答	1	基本問題
		2	数と式
		3	2次関数の最大・最小
	選択問題 2題選択	4	図形と計量
		5	場合の数と確率
		6	整数の性質
第2回 (1学期)	必答	1	基本問題
		2	数と式
		3	2次関数の最大・最小
	選択問題 2題選択	4	図形と計量
		5	場合の数と確率
		6	図形の性質
		7	複素数と方程式
第3回 (2学期)	必答	1	基本問題
		2	数と式
		3	2次関数
	選択問題 2題選択	4	図形と計量
		5	場合の数と確率
		6	図形と方程式
第4回 (3学期)	必答	1	基本問題
		2	数と式
		3	2次関数
	選択問題 2題選択	4	図形と計量
		5	場合の数と確率
		6	図形と方程式
		7	三角関数

■3年生

回		大問	出題範囲
第1回 (新学年)	必答	1	基本問題
		2	2次関数
		3	図形と計量
	選択問題 2題選択	4	場合の数と確率
		5	図形と方程式
		6	微分法
第2回 (1学期)	必答	1	基本問題
		2	2次関数
		3	図形と計量
	選択問題 2題選択	4	場合の数と確率
		5	いろいろな関数
		6	微分法・積分法

英語 (50分)

100点

■1年生

回		大問	出題範囲
スタート版	必答	1	語彙
		2	文法
		3	文構成
		4	会話
第1回 (新入生)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理
第2回 (1学期)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理
第3回 (2学期)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理
第4回 (3学期)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理

■2年生

回		大問	出題範囲
第1回 (新学年)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント・発音
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理
第2回 (1学期)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント・発音
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理
第3回 (2学期)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント・発音
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理
第4回 (3学期)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント・発音
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理

■3年生

回		大問	出題範囲
第1回 (新学年)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント・発音
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理
第2回 (1学期)	必答	1	リスニング
	選択問題 1題選択	2	アクセント・発音
		3	語彙・文法
		4	文構成
		5	会話・読解・論理

より多くの先生方に進路マップ「基礎力診断テスト」の結果をご活用いただくために、
Benesse High School Online の「インターネットフォルダ」で結果データを提供します。

〈特長〉

① より多くの先生方にデータをご活用いただけます！

Benesse High School Onlineに個人登録いただいたすべての先生が、結果データをダウンロードすることができます。校内でのテスト結果の共有がよりスピーディーになります。

② 加工できるデータをより早くお届けします！

加工可能なデータ形式でテストの結果をお届けします。学校でのご指導に応じてデータを加工いただけます。

WEB画面 イメージ



1 テスト・教材のフォルダを選択します。



2 ダウンロードする
ファイルを指定します。

3 先生のパソコンにファイルを
ダウンロードできます。

※画面イメージは変更になる可能性があります。

進路マップ「基礎力診断テスト」インターネットフォルダ搭載電子データ

分類	ファイル名	内容
マークリット早期配信サービス	(早期)個人結果(学力)	各個人の教科得点・大問別得点率一覧
	(早期)個人結果(アンケート)	各個人のアンケート回答一覧
学校別集計結果データ	個人結果	各個人の教科成績(GTZ・偏差値など)一覧
	校内集計結果	校内の教科・大問・小問群・小問分析結果一覧
	(学校オリジナル質問)個人結果	各個人のオリジナル質問回答一覧
	(学校オリジナル質問)校内集計結果	校内のオリジナル質問集計一覧
専門高校集計結果データ	(専門集計)個人結果	科・コースごとの各個人の教科成績(偏差値・順位)一覧
	(専門集計)全国受験者人数	科・コースごとの全国受験校・人数一覧
帳票PDFデータ	学年診断レポート	「学年診断レポート」冊子のPDFデータ
	教科診断レポート	「教科診断レポート」冊子のPDFデータ

ご利用の 注意点

- ※「インターネットフォルダ」はテスト受験結果など個人情報扱うサービスです。これらのサービスをご利用になるには、学校別にお届けしているログインファイル(CD-ROM)と先生の個人登録が必要となります。詳しくは下記URL・電話番号にてご確認ください。
- ※インターネットフォルダでのデータ提供は、「基礎力診断テスト」または「基礎力診断テストと進路適性検査のセット」受験の場合に限ります。「進路適性検査」単体でのご受験の場合はご利用いただけません。

WEBサポートデスク Benesse High School Online／インターネットフォルダ

URL

<https://bhso.benesse.ne.jp/>

お問い合わせ

0120-350124 (通話料無料)

受付時間(祝日・年末・年始を除く) / 月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00

お申し込み方法

お申し込み専用FAX



0120-350470 (通信料無料)

専用のFAX申込書に必要事項をご記入のうえ、お申し込み専用FAX番号までご送信ください。

【お申し込みの留意点】

- お申し込みは1枚の申込書につき1つの回・タイプ(セット・単品)に限定させていただきます。同時に複数の回のお申し込みをいただく場合や学力テスト・進路適性検査セット受験と、単品受験が混在する場合は、お手数ですが、申し込み回・タイプ分の申込書をコピーしてそれぞれご記入ください。
- 「自己発見リサーチ」と「自己発見フォーカス」は、同じ学年内で同時にお申し込みはできません。

▲基礎力診断テスト・進路適性検査 申込書

WEBでのお申し込み

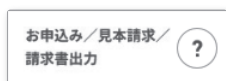


Benesse High School Online からご利用いただけます。
<https://bhsso.benesse.ne.jp/>

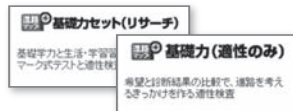
※お申し込みには、学校ID・ログインコード または 先生個人ID・パスワードが必要です。※ホームページメンテナンス期間は入力できません。

お申し込みの流れ

①Topページのバナーをクリック



②お申し込みいただく教材をクリック



③必要情報を入力

ご送金方法

- 同封の郵便振替用紙(手数料弊社負担)をご利用のうえ、お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください。
- 郵便局がお渡しする「振替払込請求書兼受領証」は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。
- 2017年3月より、請求書等が上記WEBよりダウンロードできるようになりました。

郵便振替用紙記入例 ▶

よくあるご質問

ご質問	回答
教科ごとの実施時間は何分ですか？	各教科50分です。
出題分野を生徒に教えてもよいですか？	出題分野の取り扱いには各学校の判断にお任せしています。ただし、告知する場合は、クラスによって偏りなく、学校内で公平になるようにご注意ください。
結果はいつ返ってきますか？	弊社にマークシートが到着してから約2週間後に結果資料を発送します。
進路適性検査と基礎力診断テストをセット受験する場合、別の日に実施してもよいですか？	別の日に実施しても構いませんが、マークシートの発送は、原則、一度にまとめてください。また、結果帳票は、後に実施されたテストのマークシートが弊社に到着してから約2週間後に発送します。

お問い合わせ 教材内容やお申し込み方法についてのお問い合わせは、こちらで承ります。

お客様サービスセンター



0120-350455

通話料
無料

受付時間(祝日、年末・年始を除く) / 月～金 8:00～19:00 ± 8:00～17:00

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト スタート版-1 年 1 回

対象教科：国語

測定内容の区分：基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字の読み書き、語彙（適切な類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】 25 問（程度） 【出題形式】 選択式 <u>※スタート版については 28 問（程度）となります</u>	C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ア） 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解するとともに、敬語を社会の中で適切に使うこと。 （イ） 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 C 読むこと ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （イ） 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 （ウ） 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。 （エ） 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。 中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>言葉のきまり（口語文法、指示語、接続語、敬語など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】 14 問（程度） 【出題形式】 選択式 <u>※スタート版については 19 問（程度）となります。</u>	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ア） 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解するとともに、敬語を社会の中で適切に使うこと。 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ウ） 分の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。 （エ） 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。 中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （エ） 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた短い文章を読み、指示語が指す内容を的確に把握したり、文章の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、文章の主題や筆者の主張を把握したりすることができる。	【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。 イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (エ) 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>指示語が指す内容を的確に把握したり、文章の内容を的確に読み取ったりすることができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (エ) 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。
論理的な文章を読み、 <u>筆者の主張とその根拠を把握したり、関連する情報を組み合わせたり、説明されている事象を他の事象に当てはめたりして考えることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
放送を聞き、語り手の発言の要点を理解したり、内容を的確に聞き取ったり、発言の要点や聞き手に対して工夫していたことを把握したりすることができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	と A 話すこと・聞くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 A 話すこと・聞くこと ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。 エ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。
	【設問数】2問（程度） 【出題形式】記述式	B A 書くこと 話すこと・聞くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 A 話すこと・聞くこと ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。 エ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等 は事項	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>示された文章の内容を理解し、必要な情報に着目して取り出すしたり、内容を関連付けて根拠となる情報を抽出したり、理解したことを筋道立てて説明することができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
	【設問数】1問（程度） 【出題形式】短答式	C B 読むこと 書くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
	【設問数】1問（程度） 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト 1 年 2 回-2 年 2 回

対象教科：国語

測定内容の区分：基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字の読み書き、語彙（適切な類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】22 問（程度） 【出題形式】選択式	〔C 読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ア） 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解するとともに、敬語を社会の中で適切に使うこと。 （イ） 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 C 読むこと ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （イ） 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 （ウ） 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。 （エ） 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。 中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>言葉のきまり（口語文法、指示語、接続語、敬語など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】7問（程度） 【出題形式】選択式 ※2年1回については4問（程度）となります。	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ア） 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解するとともに、敬語を社会の中で適切に使うこと。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ウ） 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。 （エ） 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （エ） 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた短い文章を読み、指示語が指す内容を的確に把握したり、文章の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、文章の主題や筆者の主張を把握することができる。	【設問数】5 問（程度） 【出題形式】選択式	C 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第1 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。 イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 エ 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。 中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、 <u>指示語が指す内容を的確に把握したり、文章の内容を的確に読み取ることができる。</u>	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (エ) 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。
論理的な文章を読み、 <u>筆者の主張とその根拠を把握したり、それについての話し合いを通して読み取った情報を組み合わせたり、説明されている事象をほかの事象に当てはめたりして、考えを形成することができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古文読解に必要な語句の意味、 品詞の活用を理解したり、古文 の基礎的な知識を使って短い 古典テキストを読むことができ る。	【設問数】12 問（程度） 【出題形式】選択式 サンプル問題 1。	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につい て気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
放送を聞き、語り手の発言の要点を理解したり、内容を的確に聞き取ったり、発言の要点や聞き手に対して工夫していたことを把握したりすることができる。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	と A 話すこと・聞くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 A 話すこと・聞くこと ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。 エ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。
	【設問数】1問（程度） 【出題形式】記述式	B A 書くこと 話すこと・聞くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 A 話すこと・聞くこと ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。 エ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等 は事項	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
複数の文章の内容を理解し、そこから必要な情報を統合したり、別の情報から根拠となる情報を抽出したり、そこから必要な情報を統合して書いたりすることができる。	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2	C B 読むこと 書くこと	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと ア 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考え方を文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述したりすること。 エ 文章の構成を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト 2 年 3 回-3 年 2 回

対象教科：国語

測定内容の区分：基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字の読み書き、語彙（適切な類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】16 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ア） 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解するとともに、敬語を社会の中で適切に使うこと。 （イ） 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 C 読むこと ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （イ） 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 （ウ） 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。 （エ） 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。 中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた短い文章を読み、 <u>指示語が指す内容を的確に把握したり、文章の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、文章の主題や筆者の主張を把握したりすることが</u> できる。	【設問数】6 問（程度） 【出題形式】選択式	事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。 イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （エ） 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと 同じような働きをもつ語句などに注意すること。 国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述したりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、指示語が 指す内容を的確に把握したり、 文章の内容を的確に読み取る ことができる。	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 中学校学習指導要領 国語〔第1 学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (エ) 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと 同じような働きをもつ語句などに注意すること。 国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述したりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章を読み、筆者の主張とその根拠を把握したり、それについての話し合いを通して、読み取った情報を組み合わせたり、説明されている事象を他の事象に当てはめたりして、 <u>考えを形成することができる</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述したりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古文読解に必要な語句の意味、 品詞の活用を理解ができる。	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 C	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 イ 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
古文読解に必要な語句の意味 を理解した上で、内容を正しく 理解し、解釈することしたり、 文章の主題・要旨を理解するこ とができる。	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 イ 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
漢文読解に必要な訓読のルール、語句・句形の基礎を理解することができる。	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	特質に関する事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 イ 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
漢文読解に必要な訓読のルール、語句・句形の基礎を理解した上で、内容を正しく理解し、解釈することができる。	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	C 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 イ 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
放送を聞き、語り手の発言の要点を理解したり、内容を的確に聞き取ったり、発言の要点や聞き手に対して工夫していたことを把握したりすることができ。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	と A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 A 話すこと・聞くこと ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。 エ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。
	【設問数】1問（程度） 【出題形式】記述式	B A 書 く こ と 話 す こ と ・ 聞 く こ と	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 A 話すこと・聞くこと ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。 エ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等 は事項	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<u>複数の文章の内容を理解し、そこから必要な情報を統合したり、別の情報から根拠となる情報を抽出したり、そこから必要な情報を統合して書いたりすることができる。</u>	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 短答式	C B 読むこと 書くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 記述式	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと ア 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考え方を文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述したりすること。 エ 文章の構成を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

(様式 4)

z 測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト スタート版-1 年 1 回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>小学校学習指導要領の数と計算</u> や <u>中学校指導要領の数と式</u> などで学習する <u>定理・公式や計算法則</u> を用いて、 <u>四則演算</u> をしたり、 <u>方程式の解</u> を求めたりすることができる。	【設問数】 14 問 【出題形式】 選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第 4 学年〕 (4) 整数の計算の能力を定着させ、それを用いる能力を伸ばす。 小学校学習指導要領 算数 〔第 5 学年〕 (3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。 (4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。 オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。 小学校学習指導要領 算数 〔第 6 学年〕 (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

			イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。 (2) 小数及び分数の計算の能力を定着させ、それらを用いる能力を伸ばす。
		B 量と測定	小学校学習指導要領 算数 〔第6学年〕 (4) 速さについて理解し、求めることができるようにする。
		D 数量関係	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 (3) 百分率について理解できるようにする。
		A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。 ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。 (3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。 ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

			中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (1) 正の数の平方根について理解し，それを用いて表現し考察することができるようになる。 イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。 (2) 文字を用いた簡単な多項式について，式の展開や因数分解ができるようにするとともに，目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。 イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$ (3) 二次方程式について理解し，それを用いて考察することができるようにする。 イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。 ウ 解の公式を知り，それを用いて二次方程式を解くこと。
		D 資料の活用	中学校学習指導要領 数学 〔第 1 学年〕 (1) 目的に応じて資料を収集し，コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し，代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。 ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。 イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。

中学校指導要領の関数で学習する定理・公式を用いて、一次関数のグラフの傾きを求めたり、与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ を表す正しいグラフを選択したりすることができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。 ア 関数関係の意味を理解すること。 中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。 イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。
一次関数の式やグラフを活用して、日常的な事象における課題解決をすることができる。	【設問数】3 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

小学校学習指導要領の図形と中学校指導要領の図形で学習する定理・公式を用いて、与えられた図形の辺の長さを求めたり，角の大きさを求めたりすることができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式	C 図形	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 (1) 図形についての観察や構成などの活動を通して，平面図形についての理解を深める。 ウ 図形の性質を見だし，それを用いて図形を調べたり構成したりすること。
		B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (2) 観察，操作や実験などの活動を通して，空間図形についての理解を深めるとともに，図形の計量についての能力を伸ばす。 ア 空間における直線や平面の位置関係を知ること。 ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体，錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。 中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 図形の性質を三角形の相似条件などを基にして確かめ，論理的に考察し表現する能力を伸ばし，相似な図形の性質を用いて考察することができるようにする。 ア 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解すること。 (2) 観察，操作や実験などの活動を通して，円周角と中心角の関係を見いだして理解し，それを用いて考察することができるようにする。 ア 円周角と中心角の関係の意味を理解し，それが証明できることを知ること。

			(3) 観察，操作や実験などの活動を通して，三平方の定理を見いだし て理解し，それを用いて考察することができるようにする。 ア 三平方の定理の意味を理解し，それが証明できることを知ること。
<u>問題文で与えられた条件を利用して図形の計量を行い，日常的な事象における課題解決をすることが</u>できる。	【設問数】3 問 【出題形式】選択式	D 数量関係	小学校学習指導要領 算数 〔第 6 学年〕 (1) 比について理解できるようにする。
		B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (1) 図形の性質を三角形の相似条件などを基にして確かめ，論理的に 考察し表現する能力を伸ばし，相似な図形の性質を用いて考察することが できるようにする。 エ 基本的な立体の相似の意味と，相似な図形の相似比と面積比及び 体積比の関係について理解すること。
<u>日常的な事象において，資料の代表値を読み取り，その代表 値を根拠として適切な結論を出すことが</u>できる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式	D 資料の活用	中学校学習指導要領 数学 〔第 1 学年〕 (1) 目的に応じて資料を収集し，コンピュータを用いたりするなどして 表やグラフに整理し，代表値や資料の散らばりに着目してその資料の 傾向を読み取ることができるようにする。 ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。 イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。

<u>日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、条件に当てはまる値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 数学 〔第4学年〕 (4) 整数の計算の能力を定着させ、それをを用いる能力を伸ばす。
<u>日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、文字の値の範囲を求め、条件に当てはまる数を文字式を用いて表すことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。 エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。
<u>日常的な事象において、数式や言葉を用いて条件を比較し、課題解決の思考プロセスを説明することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。 イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1 年 2 回-1 年 3 回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>小学校学習指導要領の数と計算</u> や <u>中学校指導要領の数と式</u> などで学習する <u>定理・公式や計算法則</u> を用いて、 <u>四則演算</u> をしたり、 <u>方程式の解を求めたり</u> することができる。	【設問数】 14 問 【出題形式】 選択式	A 数と計算	小学校学習指導要領 算数 〔第 4 学年〕 (4) 整数の計算の能力を定着させ、それを用いる能力を伸ばす。 小学校学習指導要領 算数 〔第 5 学年〕 (3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。 小学校学習指導要領 算数 〔第 6 学年〕 (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

		B 量と測定	小学校学習指導要領 算数 〔第6学年〕 (4) 速さについて理解し，求めることができるようにする。
		D 数量関係	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 (3) 百分率について理解できるようにする。
		A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し，その四則計算ができるようにするとともに，正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。 ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。 (3) 方程式について理解し，一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。 ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

			中学校学習指導要領 〔第 2 学年〕 (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。 ア 簡単な整式の加法，減法及び単項式の乗法，除法の計算をすること。 中学校学習指導要領 〔第 3 学年〕 (1) 正の数の平方根について理解し，それを用いて表現し考察することができるようにする。 イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。 (3) 二次方程式について理解し，それを用いて考察することができるようにする。 イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。 ウ 解の公式を知り，それを用いて二次方程式を解くこと。
		D 資料 の 活用	中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (1) コンピュータを用いたりするなどして，母集団から標本を取り出し，標本の傾向を調べることで，母集団の傾向が読み取れることを理解できるようにする。 イ 簡単な場合について標本調査を行い，母集団の傾向をとらえ説明すること。

中学校指導要領の関数で学習する定理・公式を用いて、座標平面上の直線の式を求めたり、与えられた x と y に関する条件から、x と y の関数を $y=ax^2$ の式で表したりすることができる。	【設問数】 10 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1(2) サンプル問題 1(5) サンプル問題 1(8) サンプル問題 1(9)	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第 1 学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。 ア 関数関係の意味を理解すること。 エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。 中学校学習指導要領 数学 〔第 2 学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。 イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。
--	---	--------------------	---

関数 $y=ax^2$ の式やグラフを活用して、日常的な事象における課題解決をすることができる。	【設問数】3 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第3 学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。 イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 ウ 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。 エ いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解すること。
中学校指導要領の数と式や数学Ⅰの数と式で学習する定理・公式を用いて、与えられた式の因数分解をしたり、無理数を含む式の展開をしたりすることができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第2 学年〕 (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見いだし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。 ア 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。 中学校学習指導要領 数学 〔第3 学年〕 (2) 文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。 イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$

		(1) 数と式	数学 I 2 (1) ア 数と集合 (イ) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 式 (イ) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め，式を多面的にみたり目的に応じて 式を適切に変形したりすること。
<u>日常的な事象において，無理数の計算を行い，日常的な事象における課題解決を解決することができる。</u>	【設問数】3 問 【出題形式】選択式	A	中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕 (1) 正の数の平方根について理解し、それを用いて表現し考察することができるようにする。 ウ 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすること。
		(1) 数と式	数学 I 2 (1) ア 数と集合 (イ) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。

日常的な事象において、資料の代表値を読み取り、その代表値を根拠として適切な結論を出すことができる。	【設問数】2問 【出題形式】選択式	D 資料の活用	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。 ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。 イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。
日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、 x と y に関する条件から比例関係を式で表すことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2問 1	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。 エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。
日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、 x と y の関係を表す適切なグラフを選択することができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2問 2	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。
日常的な事象において、数式や言葉、グラフを用いて条件を比較し、思考プロセスを説明することができる。	【設問数】1問 【出題形式】記述式 サンプル問題 2問 3	(1) 数と式	数学 I 2 (1) イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 2 年 1 回-3 年 2 回

(複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載 ※選択科目範囲の受検なし)

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>中学校指導要領の数と式や数学Ⅰの数と式などで学習する定理・公式を用いて、方程式や不等式の解を求めたり、与えられた簡単な命題の真偽を判断したりすることができる。</u>	【設問数】 14 問 【出題形式】 選択式	D 数量関係	小学校学習指導要領 算数 〔第 5 学年〕 (3) 百分率について理解できるようにする。
		A 数と式	中学校学習指導要領 数学 〔第 1 学年〕 (1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。 ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。 中学校学習指導要領 数学 〔第 2 学年〕 (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。 ア 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。

			中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (1) 正の数の平方根について理解し、それを用いて表現し考察することができるようにする。 イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。 (2) 文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。 イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$ (3) 二次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。 イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。 ウ 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
		B 図 形	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 (3) 観察、操作や実験などの活動を通して、三平方の定理を見いだして理解し、それを用いて考察することができるようにする。 ア 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知ること。

		C 関 数	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。
		(1) 数 と 式	数学 I 2 (1) ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。 イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

		(4) データの分析	数学 I 2 (4) ア データのちらばり 四分位偏差, 分散及び標準偏差などの意味について理解し, それらを用いてデータの傾向を把握し, 説明すること。 イ データの相関 散布図や相関係数の意味を理解し, それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。
<u>数学 I の二次関数で学習する定理・公式を用いて, 放物線の頂点を求めたり, 与えられた二次不等式を解いたりすることができる。</u>	【設問数】 10 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また, 二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について, グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。 (イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに, 数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。

二次関数の式やグラフを活用して、日常的な事象を考察することができる。	【設問数】3 問 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。
数学 I の図形と計量で学習する定理・公式を用いて、与えられた三角形の辺の長さから余弦の値を求めたり、三角形の面積を求めたりすることができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。 イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。

日常的な事象において、与えられた条件と余弦定理をもとに、求めたい長さの計量を行い、課題を解決することができる。	【設問数】3問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (7) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。
日常的な事象において、資料の代表値を読み取り、その代表値を根拠として適切な結論を出すことができる。	【設問数】2問 【出題形式】選択式	D 資料の活用	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] (1) 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。 ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。 イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。
日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、xとyに関する条件から比例関係を式で表すことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。 エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。
日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、xとyの関係を表す適切なグラフを選択することができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第2学年] (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

日常的な事象において、数式や言葉、グラフを用いて条件を比較し、思考プロセスを説明することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) イ 式 (i) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。
--	----------------------------------	-----------------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ基礎力診断テスト スタート版-1年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・モノローグまたは複数の人物による会話を聞いて、 <u>その場面や状況などを推測する</u> ことができる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問(程度) 【CEFR】 A1程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ア 聞くこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて, 情報を正確に聞き取ること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・状況に応じた <u>正しい文法・語彙</u> 語法や表現を使用することができる。	【設問数】 20 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 20 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し, 正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり, その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し, 語と語の区切りなどに注意し正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
・正しい文法・語彙語法知識から <u>日本語の内容に即した英文</u> を再構築することができる。	【設問数】 6 問 (程度) 【出題形式】 選択式 (語句整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 6 問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話文やチラシなどの題材や まとめた英文を読んで、 <u>その 場面や状況、流れ、概要などを とらえることができる。</u>	【設問数】 10 問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 10 問 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた情報に応じて、正しく <u>描写したり自分の意見を簡潔に英語で表現したり</u> することができる。	【設問数】 4 問 (程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 4 問 【CEFR】 A1～A2 程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」 <u>をすることができる。</u>	【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4～7 問(程度) 【CEFR】 A1～2程度	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話を <u>聞いて、その場面や状況などを推測</u> することができる。	【設問数】4問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 コミュニケーション英語 I 1問 【CEFR】A1 程度 サンプル問題 1	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ア 聞くこと (ア)強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。 (イ)自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 (オ)まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・状況に応じた <u>正しい文法、語彙・語法や表現を使用</u> ことができる。	【設問数】20問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 15問 コミュニケーション英語Ⅰ 5問 【CEFR】A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意し正しく書くこと。 (イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
・正しい文法語彙語法知識から <u>日本語の内容に即した英文を再構築</u> することができる。	【設問数】6問(程度) 【出題形式】 選択式(語句整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 4～5問 コミュニケーション英語Ⅰ 1～2問 【CEFR】A1程度		コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話文やチラシなどの題材や まとめた英文を読んで、 <u>その 場面や状況、流れ、概要などを とらえることができる。</u>	【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 7問 コミュニケーション英語 I 3問 CEFR】A1～A2 程度 サンプル問題 2	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた情報に応じて、正しく <u>描写したり自分の意見を簡潔に英語で表現したり</u> することができる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 3 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 コミュニケーション英語 I 1問 【CEFR】 A1～A2 程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。 コミュニケーション英語 I (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を <u>する</u> ことができる。	【設問数】4問～7問（程度） 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】義務教育範囲 3問～5問（程度） コミュニケーション英語Ⅰ 1問～2問（程度） 【CEFR】A1～2程度 サンプル問題 4	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ基礎力診断テスト 2年2回-3年2回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話を <u>聞いて、その場面や状況等を推測することができる。</u>	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 コミュニケーション英語Ⅰ 2問 【CEFR】 A1程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ア 聞くこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて, 情報を正確に聞き取ること。 (オ) まとまりのある英語を聞いて, 概要や要点を適切に聞き取ること。 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・状況に応じた <u>正しい文法、語彙・語法や表現を使用すること</u> ができる。	【設問数】 22 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 10～22 問 コミュニケーション英語 I 2～12 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア)文字や符号を識別し，正しく読むこと。 (イ)書かれた内容を考えながら黙読したり，その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア)文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意し正しく書くこと。 (イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。
・正しい文法語彙語法知識から <u>日本語の内容に即した英文を再構築すること</u> ができる。	【設問数】 6 問(程度) 【出題形式】 選択式(語句整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 3～6 問 コミュニケーション英語 I 1～3 問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話文やチラシなどの題材や まとめた英文を読んで、 <u>その 場面や状況、流れ、概要などを とらえることができる。</u>	【設問数】 10 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3～7 問 程度 コミュニケーション英語 I 3～7 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた情報に応じて、正しく <u>描写したり自分の意見を簡潔に英語で表現したり</u> することができる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1～3問 コミュニケーション英語Ⅰ 1～3問 【CEFR】 A1～A2程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を <u>する</u> ことができる。	【設問数】 4問～7問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問～5問（程度） コミュニケーション英語Ⅰ 1問～2問（程度） 【CEFR】 A1～2程度	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年2回

対象教科：国語

測定内容の区分：基本タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	国語総合																																																		
出題のポイント	古文読解に必要な語句の意味、品詞の活用を理解したり、古文の基礎的な知識を使って短い古典テキストを読む力を測定する。																																																		
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問一（１）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問一（２）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問二（１）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問二（２）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問三（１）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問三（２）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問三（３）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問四（１）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問四（２）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問四（３）</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問四（４）</td><td>○</td><td></td></tr></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一（１）	○		問一（２）	○		問二（１）	○		問二（２）	○		問三（１）	○		問三（２）	○		問三（３）	○		問四（１）	○		問四（２）	○		問四（３）	○		問四（４）	○													
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																																																	
問一（１）	○																																																		
問一（２）	○																																																		
問二（１）	○																																																		
問二（２）	○																																																		
問三（１）	○																																																		
問三（２）	○																																																		
問三（３）	○																																																		
問四（１）	○																																																		
問四（２）	○																																																		
問四（３）	○																																																		
問四（４）	○																																																		
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問一（１）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問一（２）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二（１）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二（２）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三（１）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三（２）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三（３）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四（１）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四（２）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四（３）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四（４）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一（１）	○			問一（２）	○			問二（１）	○			問二（２）	○			問三（１）	○			問三（２）	○			問三（３）	○			問四（１）	○			問四（２）	○			問四（３）	○			問四（４）	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																																																
問一（１）	○																																																		
問一（２）	○																																																		
問二（１）	○																																																		
問二（２）	○																																																		
問三（１）	○																																																		
問三（２）	○																																																		
問三（３）	○																																																		
問四（１）	○																																																		
問四（２）	○																																																		
問四（３）	○																																																		
問四（４）	○																																																		

サンプル
問題

■ 次の各問いに答えよ。

問一 次の傍線部の読み方を現代仮名遣いで書いたものとして適

当なものを、後の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ
選べ。解答番号は(1)が 26、(2)が 27。

(1) 嵯峨^{さが}の院などには、いと口惜^{くろ}しう聞かせ給^{たま}へど、……。

- ① くちおしうきかせたまうど
- ② くちをしうきかせたまへど
- ③ くちおしゆきかせたまうど
- ④ くちおしゆきかせたまえど
- ⑤ くちをしきかせたまへど

(2) さはありとも、宮仕へをし給はざらむ。

- ① みやづかえをしたまわざらん
- ② みやづかへをしたまうざらむ
- ③ みやづかえをしたまはざらむ
- ④ みやづかへをしたまわざらん
- ⑤ みやづかへをしたまふざらん

問二 次の傍線部の古語での読み方を、現代仮名遣いで書いたもの

のとして適当なものを、後の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は(1)が 28、(2)が 29。

(1) 四月十余日にもなりぬれば、……。

- ① むつき ② さつき
- ③ うづき ④ ながつき
- ⑤ はつき

(2) 内裏に奏すべきことあるにより、……。

- ① ないり ② だいら
- ③ くり ④ ないない
- ⑤ うちら

問三 次の傍線部の品詞として適当なものを、後の①～⑨のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は(1)が 30、(2)

が 31、(3)が 32。

(1) 例の猫にはあらず、聞き知り顔にあはれなり。

(2) なほさらに言ふべきにもあらず。

(3) 「ふす猪の床」と言へば、やさしくなりぬ。

*ふす猪の床——草を敷いた猪の寢床。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| ① 動詞 | ② 形容詞 | ③ 形容動詞 |
| ④ 名詞 | ⑤ 連体詞 | ⑥ 副詞 |
| ⑦ 接統詞 | ⑧ 助動詞 | ⑨ 助詞 |

問四

次の傍線部の本文中での意味として最も適当なものを、後の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は(1)が 33、(2)が 34、(3)が 35、(4)が 36。

(1) めでたき事など、人の言ひ伝へぬは、かひなきわざぞかし。

- ① めずらしい事
- ② 変わった事
- ③ すばらしい事
- ④ 不思議な事
- ⑤ きまりが悪い事

(2) 海上もいたく荒れければ、浦伝ひ島伝ひして、……。

- ① たいへん
- ② 以前から
- ③ 早くも
- ④ 自然に
- ⑤ いつまでも

(3) 齋院^{さいいん}を替へられむとしけるを、そのことやみにければ、……。

* 齋院——京都の賀茂神社^{かもじんじ}の皇女^{みみこ}。

- ① 延期になつてしまったので
- ② 中止になつてしまったので
- ③ 心配になつてしまったので
- ④ 内密のことになつてしまったので
- ⑤ 不要のことになつてしまったので

(4) 西行法師^{さいぎょうぼうし}、男なりけるととき、かなしくしける女の、三、四歳ばかりなるが、重くわづらひて……。

* 男なりけるととき——ここでは「出家する前に」ということ。

- ① 気の毒に思つていた女の子で
- ② 風流がついていた女の子で
- ③ 悲しんでいた女の子で
- ④ かわいがつていた女の子で
- ⑤ さびしげだった女の子で

解答例	■問一（１） ４ 問一（２） １ 問二（１） ３ 問二（２） ２ 問三（１） ３ 問三（２） ８ 問三（３） ２ 問四（１） ３ 問四（２） １ 問四（３） ２ 問四（４） ４
（参考）学 習指導要 領の関連 項目	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 ア 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 イ 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年2回
対象教科：国語
測定内容の区分：基本タイプ
サンプル問題番号：2

出題科目	国語総合									
出題のポイント	複数の情報から、解答を導き出す際に必要な情報を抽出、統合し、内容を理解して説明できる力を測定する。									
主として問う能力	<table><tr><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td></td><td>☐</td></tr><tr><td></td><td>☐</td></tr><tr><td></td><td>☐</td></tr></table>	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		☐		☐		☐	
知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
	☐									
	☐									
	☐									
出題形式	<table><tr><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	選択式	短答式	記述式	☐	☐	☐			
選択式	短答式	記述式								
☐	☐	☐								
サンプル問題	2 次は、清掃ボランティアに参加した前川さんが書いた「活動体験記」と、ボランティアに関する【資料1】、【資料2】である。これを読んで、後の問いに答えよ。 【活動体験記】 私は先日、地域のボランティア団体が主催する海岸地域の清掃ボランティアに参加してきた。参加方法は簡単だ。事前に事務所に連絡し、氏名と連絡先を伝える。すると当日の集合場所や時間、必要な持ち物などを教えてくれる。 私がこの団体の清掃ボランティアに参加するのは五回目だ。これまでの四回は駅前公園の清掃だった。清掃活動を終えて、きれいになった公園を見たときの達成感が忘れられなかった。また、活動を重ねるたびに公園に捨てられているごみが少なくなっていることがうれしかった。自分の活動が①につながったのだと感じて、やりがいにつながった。さらに、同じ目的を持つ仲間と一緒に活動できるということも、私にとつてのモチベーションとなった。 今回、海岸地域の清掃ボランティアに参加しようと思った第一の理由は、以前、海水浴に行ったときに、海岸のごみの多さに驚いたことがあったからだ。第二の理由は、広い場所をきれいにすれば、より大きな達成感を得られるのではないかと考えたからだ。 結論からいえば、私の期待は外れた。海岸地域は想像以上にごみが多く、いくら掃除をしても、きれいになったと実感することはできなかった。海岸地域は海水浴やサーフィン、釣りなど様々な目的で多くの人が訪れるので、捨てられるごみも大量だ。驚いたことに、冷蔵庫や電子レンジといった家電製品や車のタイヤなども不法投棄されていた。ボランティア団体の職員の方がおっしゃるには、私たちに拾えるごみの量には限界があるため、ごみを拾う活動と並行して、ごみを捨てないようにするための広報活動も行っているとのことだった。確かにごみを拾うだけでは、ごみはなくならないだろう。また、清掃ボランティアに参加する人が増えていけば、そうした広報活動も多くの人に知ってもらえることができるので、是非いろいろな人に参加してほしいとおっしゃっていた。 清掃ボランティアはとても気軽に参加できるし、学べることもたくさんある。②という人が多いと思うが、ぜひ勇気を持って参加してほしいと思う。そして、ごみ問題の深刻さを知ってもらい、周りの人たちにそれを伝えてほしい。そうした小さな取り組みが、地域の環境を守っていくことにつながるのだと私は思っている。									

—国語 2—

【資料1】清掃ボランティアに参加した人の感想

●参加してよかったことはどんなことか

- ・きれいになった場所を見たときに達成感を得られたこと。
- ・住民のごみ問題への意識が変わったと感じられることがあること。

- ・自分が人の役に立っているという意識を持てたこと。
- ・すばらしい仲間と出会えたこと。

- ・同じ目標に向かってみんなで頑張れること。

●清掃ボランティアに参加して感じた課題

- ・もっと大勢の人に清掃活動に参加してほしい。
- ・もっと清掃をする時間が長いとよい。

A

- ・いくら清掃してもごみを捨てる人がいれば何も変わらない。
- ・ごみを拾う人と捨てる人のいたちごっこになっている。

【資料2】清掃ボランティアに関する意識調査

(生徒会による生徒への調査結果)

清掃ボランティアに参加したいですか

是非参加したい	36%
どちらかというに参加したい	24%
どちらでもない	5%
どちらかというに参加したくない	6%
参加したくない	12%
分からない	17%

清掃ボランティアに参加したことがありますか

ある	13%
ない	87%

問一 【活動体験記】と【資料1】の内容をもとにして、【活動体

験記】中の①に当てはまる言葉として最も適切なものを、次の1～4のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1 きれいな公園の周辺に暮らす人々の満足感

4

2 公園を利用する人のごみ問題への意識の変化

3 認められて、その地域に暮らす人々からの評価

4 ごみを出さない社会作りへの住民の取り組み

問二 【資料1】のAの二つの課題への対応として、前川さんが

参加したボランティアを主催する団体が行っている取り組み

として最も適切な表現を、【活動体験記】から十五字以上、

二十字以内で抜き出して答えよ。

5

問三 【活動体験記】と【資料2】から読み取れる内容をもとに

して、【活動体験記】中の②に当てはまる内容を二十

字以上、四十字以内で答えよ。

6

解答例	問一 2 問二 ごみを捨てないようにするための広報活動 問三 実際には参加したことがないけれど清掃ボランティアに参加したいと思っている。 【採点ポイント】 「実際には参加したことがない」けれど「清掃ボランティアに参加したいと思っている」という内容が書けている。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	国語総合 B 書くこと ア 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考え方を文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述したりすること。 エ 文章の構成を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1 年 2 回-1 年 3 回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号 1

出題科目	中学校 数学																				
出題のポイント	中学校数学の関数領域における知識・技能を系統的に理解できているかを測定する。																				
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(8)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(9)</td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(2)	○		(5)	○		(8)	○		(9)	○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
(2)	○																				
(5)	○																				
(8)	○																				
(9)	○																				
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(8)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(9)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(2)	○			(5)	○			(8)	○			(9)	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																		
(2)	○																				
(5)	○																				
(8)	○																				
(9)	○																				
サンプル問題	(2) y は x に比例し, $x=3$ のとき $y=-6$ である。x と y の関係を式で表すと, イ である。 ① $y=-18x$ ② $y=-2x$ ③ $y=-\frac{1}{2}x$ ④ $y=-\frac{1}{18}x$ (5) 2 点 $(0, -3), (1, -5)$ を通る直線の式は, オ である。 ① $y=-2x-3$ ② $y=-2x+3$ ③ $y=2x-3$ ④ $y=2x+3$ (8) 関数 $y=-\frac{1}{3}x^2$ のグラフは, ク である。 ① ② ③ ④ (9) 関数 $y=-x^2$ において x の値が 1 から 4 まで増加するとき,変化の割合は ケ である。 ① -5 ② -3 ③ 3 ④ 5																				
解答例	(2) ② (5) ① (8) ④ (9) ①																				
(参考) 学習指導要領の関連項目	中学校学習指導要領 数学 〔第 1 学年〕 2 C (1) エ 比例, 反比例を表, 式, グラフなどで表し, それらの特徴を理解すること。 中学校学習指導要領 数学 〔第 2 学年〕 2 C (1)																				

	イ 一次関数について，表，式，グラフを相互に関連付けて理解すること。 中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C (1) イ 関数 $y=ax^2$ について，表，式，グラフを相互に関連付けて理解すること。
--	---

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1 年 2 回-1 年 3 回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

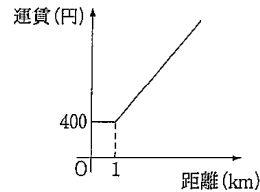
サンプル問題番号 2

出題科目	中学校 数学 数学 I																
出題のポイント	中学校数学の関数領域, および高等学校数学の数学 I (数と式) における, 日常的な事象での課題解決について知識・技能を活用し, 思考プロセスを説明することができるかどうかを測定する。																
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問 1		○	問 2		○	問 3		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等															
問 1		○															
問 2		○															
問 3		○															
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問 1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問 1	○			問 2	○			問 3			○
小問番号	選択式	短答式	記述式														
問 1	○																
問 2	○																
問 3			○														
サンプル問題	タクシーの運賃は, タクシーに乗ったときはじめに表示される「初乗運賃」と, 距離に応じて加算される「加算運賃」の合計で算出される。A 町には「にっこうタクシー」「げっこうタクシー」という 2 つのタクシー会社があり, それぞれの運賃が表 1 のようになっている。 <table><tr><th>会社名</th><th>初乗運賃</th><th>加算運賃</th></tr><tr><td>にっこうタクシー</td><td>最初の 1 km まで 400 円</td><td>以降 240 m ごとに 80 円加算</td></tr><tr><td>げっこうタクシー</td><td>最初の 2 km まで 700 円</td><td>以降 250 m ごとに 100 円加算</td></tr></table> 表 1 ここでは, <u>加算運賃を距離の 1 次関数として考える</u> こととする。 すなわち, にっこうタクシーについては, 1 km を超えた分の距離を x, 加算運賃を y とすると タクシーに乗った場所 距離 $y = \frac{1}{3}x$ が成り立つ。 また, げっこうタクシーについては, 2 km を超えた分の距離を x, 加算運賃を y とすると タクシーに乗った場所 距離 $y = \boxed{\text{エ}}$ x が成り立つ。 問 1 $\boxed{\text{エ}}$ にあてはまる数として最も適当なものを, 次の 1～4 のうちから一つ選び, 番号で答えよ。 1 $\frac{11}{3}$ 2 $\frac{8}{7}$ 3 $\frac{2}{5}$ 4 $\frac{1}{9}$	会社名	初乗運賃	加算運賃	にっこうタクシー	最初の 1 km まで 400 円	以降 240 m ごとに 80 円加算	げっこうタクシー	最初の 2 km まで 700 円	以降 250 m ごとに 100 円加算							
会社名	初乗運賃	加算運賃															
にっこうタクシー	最初の 1 km まで 400 円	以降 240 m ごとに 80 円加算															
げっこうタクシー	最初の 2 km まで 700 円	以降 250 m ごとに 100 円加算															

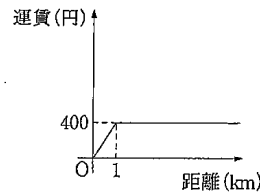
問2 次のグラフは、表1をもとに、にっこうタクシーとげっこうタクシーの運賃をグラフにしたものである。それぞれのタクシー会社の運賃を表すグラフとして最も適当なものを、次の1～4のうちから一つずつ選び、番号で答えよ。

にっこうタクシーのグラフ：

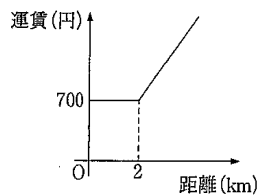
げっこうタクシーのグラフ：



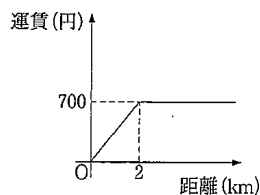
1



2



3



4

問3 さつきさんの家からタクシーを利用して、次の表2の施設に4000円以内で行く場合、どちらか一方のタクシー会社でしか行くことのできない施設をすべて答えなさい。また、選んだ理由も答えなさい。ただし、問題文にあるように、加算運賃を距離の1次関数として考えることとします。

施設：

選んだ理由：

施設	さつきさんの家からの距離
病院	3 km
市民会館	7 km
ショッピングモール	9 km
映画館	11 km
遊園地	15 km

表2

解答例

解答番号	正答・解答例
エ	3
オ	1
カ	3
キ	映画館
ク	にっこうタクシーについて、初乗運賃を除いた $4000 - 400 = 3600$ (円) までで乗ることができる距離を x m とすると $3600 \geq \frac{1}{3}x, x \leq 10800 \text{ (m)}$ よって、にっこうタクシーで4000円以内で乗ることができる距離 y_1 は $y_1 \leq 1000 + 10800 + 240 = 12040 \text{ (m)}$ げっこうタクシーについて、初乗運賃を除いた $4000 - 700 = 3300$ (円) までで乗ることができる距離を x m とすると $3300 \geq \frac{2}{5}x, x \leq 8250 \text{ (m)}$ よって、にっこうタクシーで4000円以内で乗ることができる距離 y_2 は $y_2 \leq 2000 + 8250 + 250 = 10500 \text{ (m)}$ 以上より、さつきさんの家からタクシーを利用して、表2の施設に4000円以内で行く場合、映画館だけは、にっこうタクシーでしか行くことができない。

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	中学校学習指導要領 数学 〔第1学年〕 2C (1) エ 比例, 反比例を表, 式, グラフなどで表し, それらの特徴を理解すること。 中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 2C (1) ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。 数学 I 2 (1) 数と式 イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 一次不等式の解を求めたり一 次不等式を事象の考察に活用したりすること。
---------------------------------------	--

(様式5)

サンプル問題について

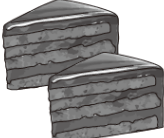
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	中学校学習指導要領 外国語																				
出題のポイント	聞き取った内容から、その状況や場面を正しく推測できるかを測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	No. 1	○		No. 2	○		No. 3	○									
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
No. 1	○																				
No. 2	○																				
No. 3	○																				
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	No. 1	○			No. 2	○			No. 3	○						
小問番号	選択式	短答式	記述式																		
No. 1	○																				
No. 2	○																				
No. 3	○																				
主として問う技能 (英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	No. 1	○				No. 2	○				No. 3	○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く																	
No. 1	○																				
No. 2	○																				
No. 3	○																				
サンプル問題	No. 1 Which T-shirt are they talking about ? ア  イ  ウ  エ  No. 2 What will they buy ? ア  イ  ウ  エ 																				

	No. 3 What are they looking at ? ア  イ  ウ  エ  【放送文】 No.1 Man : Which T-shirt do you like best ? Woman : I like the white one over there. Man : The one with the black sleeves ? Woman : That's right. I'll buy it. No.2 Woman : What kind of cake do you want ? Man : The chocolate cake. Woman : But that cheesecake looks good, too ! Man : OK, let's get a small piece of each. No.3 Woman : Look at that dog over there ! Man : The one with the long tail ? Woman : Yes. Isn't he cute ? Man : Yeah, and he has a bandana around his neck, too !
解答例	No. 1 ウ No. 2 エ No. 3 エ 絵を選択するための情報を、正確に聞き取れたかがポイント。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ア 聞くこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて, 情報を正確に聞き取ること。 (オ) まとまりのある英語を聞いて, 概要や要点を適切に聞き取ること。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	中学校指導要領 外国語													
出題のポイント	手紙文を読み、必要な情報を抽出できるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		—	○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—	○													
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	—	○				
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—	○													
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	—		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—		○												
サンプル問題	次の手紙を読み、あとの問いに対する答えとして最も適当なものを、下の A～D から一つ選び、記号で答えなさい。 Dear Angie, Today, I'd like to tell you about my friends, Kenta and Yuji. Kenta lives near my house. He and I are members of the soccer club at school. We have been playing soccer for seven years, and are good players. After practicing, we go home together. Yuji likes art very much, and is in the art club at school. He often paints pictures of nature, such as the sky and trees. I like his paintings very much. What kind of friends do you have? I'd like you to tell me about some of your friends next time. Bye, Takashi What does Takashi write about his friends? [A] Kenta lives near Takashi's house, and Yuji belongs to the soccer club. [B] Kenta belongs to the art club, and Yuji lives near Takashi's house. [C] Kenta likes taking pictures, and Yuji plays soccer. [D] Kenta plays soccer, and Yuji paints pictures.													

解答例	D 書いてある二人の人物の情報を正確にとらえることが必要。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し，正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり，その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し，適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなど することができるよう，書かれた内容や考え方などをとらえること。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:3

出題科目	コミュニケーション英語 I													
出題のポイント	与えられたテーマに関して、自分の意見を簡潔に英語で表現することができるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	—		○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○					
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—				○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—				○										
サンプル問題	あなたは日本に留学中の友だちを案内することになった。あなたは日本のどこに案内したいか、理由とともに 15 語程度の英語で答えなさい。													
解答例	・ I want to take him[her] to Kyoto because it has many historical buildings. (13 words) ・ I want to show him[her] around Osaka because it has various kinds of cheap food. (15 words) 案内したい場所を選んだうえで、その理由を正確に書けているかどうかのポイント。													
(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。													

サンプル問題について

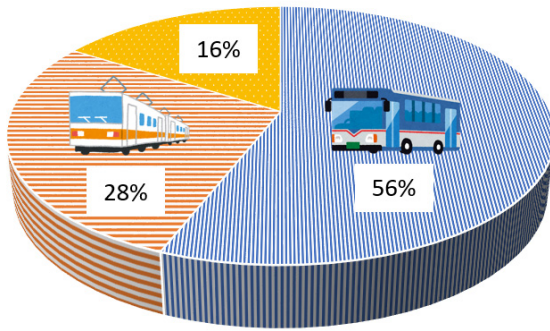
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 基礎力診断テスト 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:4

出題科目	コミュニケーション英語 I													
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		—		○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	—			○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—			○											
サンプル問題	(下記の問題は、「話すこと」(発表)に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。) 以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは 30 秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。 How do students come to school?  ■ By bus ■ By train ■ Others													
解答例	解答例：At this school, students come to school more by bus than train. 解説：グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。
---------------------------------------	---